

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②14,736人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③502人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市大正区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	14,736	502
年度実績	94.0%	29,525	692
達成率	109.8%	200.4%	137.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	29,525	25,764	3,761

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	18,607,000	19,050,000	0	—
	計画	18,607,000	19,050,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	563,790	280,010	563,790	—
	計画	0	0		
合計	実績	19,170,790	19,330,010	563,790	—
	計画	18,607,000	19,050,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,407,066	14,412,440	-2,322,934	—
	計画	14,730,000	15,200,000		
物件費	実績	5,847,301	4,884,873	1,970,301	備品類老朽化のため、器具備品費の増
	計画	3,877,000	3,850,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	18,254,367	19,297,313	-352,633	—
	計画	18,607,000	19,050,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	109.8%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの延べ利用人數	200.4%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人數	137.9%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節減を呼びかけるボスター等による注意喚起及びボランティア講師等を活用することによる謝礼節減。 ・紙類の裏面利用および比較見積調達による経費節減。	B	紙類の消耗を抑えるため裏面利用や節電などの取り組みを行い、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と連携して消防避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・サークル活動の支援に力を入れ、体験会の開催、活動成果を発表する場の提供などを実施したり、子ども・子育てプラザとの世代間交流事業を開催したりなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・「地域福祉の活動拠点施設」として役割を果たすために、告知・講師・連携協力、共催イベントやアウトリーチを基本として取り組むなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・プライバシーポリシーを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、紙類の裏面再利用など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（2）回答者101人（未記入者含む）

（3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

（4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が94.0%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.館長の発想力は非常に素晴らしい、様々な事業に取り組み、利用者を巻き込んで事業実施している点、大いに評価できる。
2.事業報告書については、必要に応じて取り組みに至るまでのプロセス等を明記しておくことによって、これからの事業展開の参考となるので、より工夫していただきたい。また、PDCAの書き方で、C（成果と課題）・A（改善策）について、より詳しく分析し、文書化していただきたい。
3.60歳代の利用者の増加の取り組みとして、60歳代にこだわらない世代間交流に更に取り組んでいただきたい。ボランティア市民活動センター等の50代・40代との繋がりを強化して、老人福祉センターをアピールしておくなど、できるところから取り組みを検討していただきたい。
4.センターだけりを、かかりつけ医等に置かれており、医師会などとも連携できている点、評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、事前に設定した目標を大幅に超える成果があった。
管理経費・市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域でも活躍していただけるように、センターの運営を行った。 今後も、ターゲット（とりわけ60代）のニーズを把握し、新規登録者数拡大の取組みをしていただきたい。
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。